

総務教育常任委員会資料

(平成31年3月6日)

〔件名〕

- ・ ミスの無い会計事務へ向けた取組状況等について (会計指導課) …… 1

会 計 管 理 局

ミスの無い会計事務へ向けた取組状況等について

平成31年3月6日
会計指導課

会計事務について、不注意によるミスや不適正な処理が散見され、定期監査でも多くの指摘や注意を受けているため、今年度から以下の新たな取組により会計指導・支援に力を入れているところです。来年度は更に改善を加え充実・強化しながら、ミスの無い会計事務に向けて取組んで参ります。

1 平成30年度の取組状況

<新たな会計指導の取組>

会計管理局職員が各所属へ出向いて直接対面しながら、個別具体的に必要な助言指導やサポートを実施した。

名称	内容
会計プチセミナー	全部局全所属を対象に、会計管理局職員が各部局や事務所に出席し、会計処理の留意点を説明。日頃の会計処理の疑問点等について相談に応じた。
会計マンスリーサポート	課題を抱える所属に出向き、1～2ヶ月集中的に支援を行い、監査指摘内容や実際の会計処理をチェックして明らかになった不適切な処理について、個別具体的なサポートを実施した。

<自己学習ツールの整備>

会計ミスを無くしていくため、各所属の担当者がチェックリストや事務処理マニュアルにより自己学習できる環境を整備した。

名称	内容
自己点検チェックリスト	会計実地検査を当該年度分を対象として実施し、ミスの発見・改善を早期に行うとともに、チェックリストにより会計処理にミスがないか自己点検する場を設け、会計事務を自ら学習し理解度を上げる取組を行った。当該チェックリストは日頃の事務処理に活用できるようにした。
契約事務のチェックポイント	初心者にもわかりやすい契約事務処理要領を策定するとともに、契約事務の一連の流れを確認できるチェックリストを添付し、処理段階に応じた事務の漏れや誤りを防ぐ仕組みの活用を促した。
会計事務処理マニュアル	歳入・歳出・物品・決算それぞれの事務について、財務会計システムの処理から起案までの基本手順をマニュアル化して日常的に活用できるようにした。

2 平成31年度の取組強化策

ミスの繰り返しや不知・認識不足等による不適正な会計処理を解消するため会計管理局職員のスキルアップとともに、会計サポートの一層の充実・強化を図っていく。

名称	内容
会計ミスの傾向と対策を学ぶ即効性のある研修	従来の会計制度や事務処理、資料を解説し説明する研修から、ミスの傾向や間違いやすいポイント等について実例を示しながらグループ討議等を加えた研修とすることで、会計事務の底上げを図る。
会計指導に重点を置いた実地検査	会計処理の誤りを指摘する場から正しい会計処理を根付かせる助言指導の場へと転換し、各所属の個別問題にも対面支援を行って日々の実務への応用を促す。
「契約」に重点を置いた会計サポート	監査指摘の多い「契約」を重点項目に据え、プチセミナー及びマンスリーサポートを実施し、対象部局特有案件にも具体的な支援を行って契約事務のミス軽減を図る。

